

平成28年台風第10号に係る関係省庁災害警戒会議（第2回）

議 事 次 第

日時：平成28年8月29日（月）13：30～

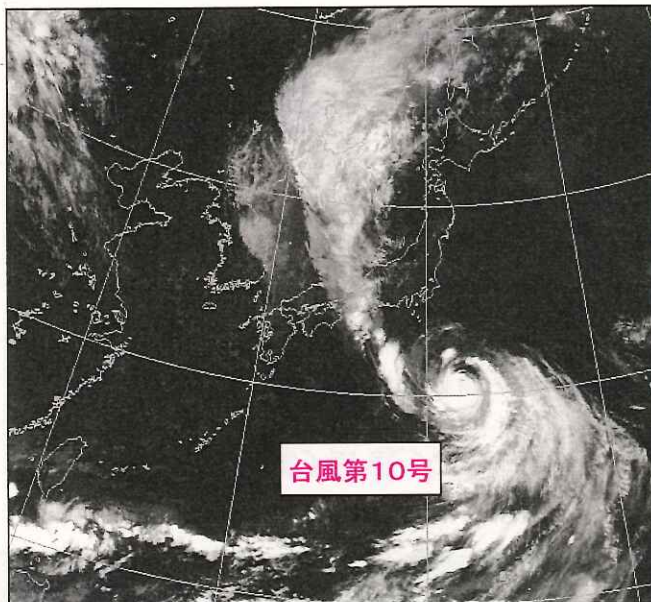
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 松本内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 今後の気象の見通し
3. 各省庁の対応状況
4. その他

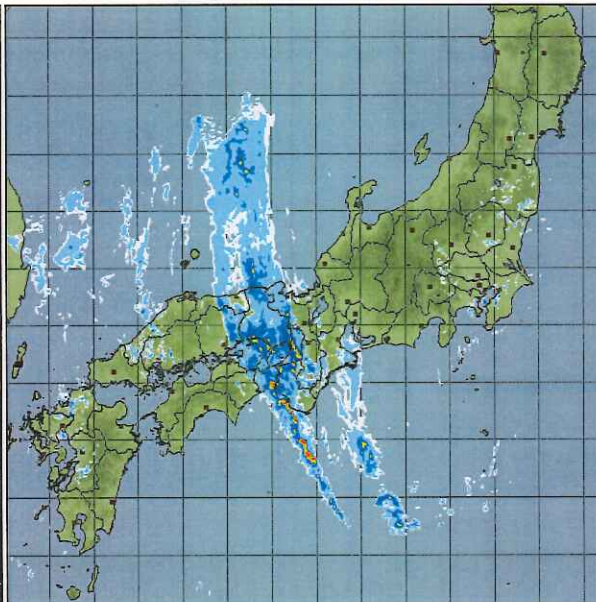
平成28年8月29日 12時00分現在

- <気象状況>大型で非常に強い台風第10号は、今日29日9時現在、八丈島の南南東約350キロメートルにあって、毎時25kmで北東へ進んでいる。台風第10号は、29日夜にかけて日本の東海上を北東に進み、明日30日には進路を北北西に変え、北日本や関東地方に接近する見込み。30日夕方から夜には、強い勢力で暴風域を伴ったまま北日本から関東地方に上陸するおそれ。明後日31日には日本海に進む見込み。
- <風・波>北日本では明日30日にかけて猛烈な風が吹き、海は猛烈なしけとなる見込み。東日本でも、30日にかけて非常に強い風が吹き、海は大しけとなる見込み。暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒。関東地方の北部、東部を中心に通勤時間帯での交通障害に警戒。
- <大雨>台風の接近、通過に伴い、北日本や東日本では非常に激しい雨が降り、局地的には猛烈な雨が降り、大雨となる見込み。特に東北地方では記録的な大雨となるおそれ。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷、竜巻などの激しい突風に注意。
- <高潮>大潮の時期と重なるため、北日本では30日夜を中心に高潮にも警戒。
- <近畿・東海・北陸地方の大雨>
- ・台風から離れた西日本でも、上空寒気の影響で、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降っており、この雨域は東進するため明日30日未明にかけて近畿・東海・北陸地方では、局地的大雨となる見込み。
 - ・低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水や氾濫に警戒。落雷、竜巻などの激しい突風に注意。

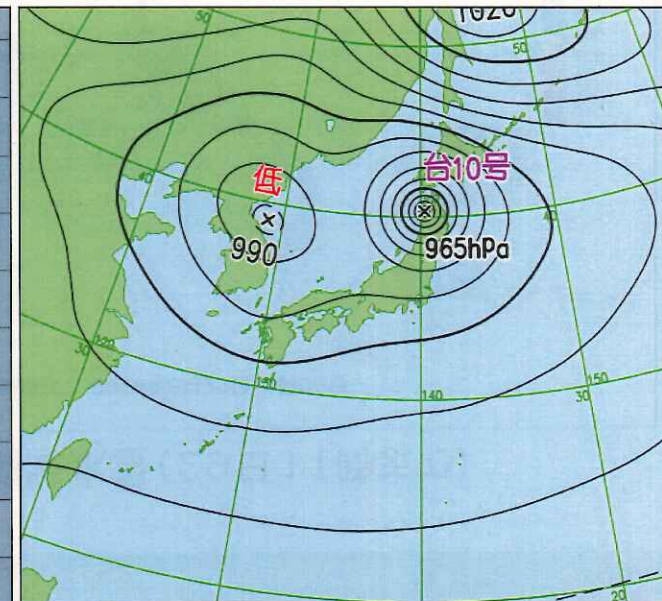
今後の台風情報や各地の気象台が発表する警報等に留意。



気象衛星画像(赤外) 8月29日11時

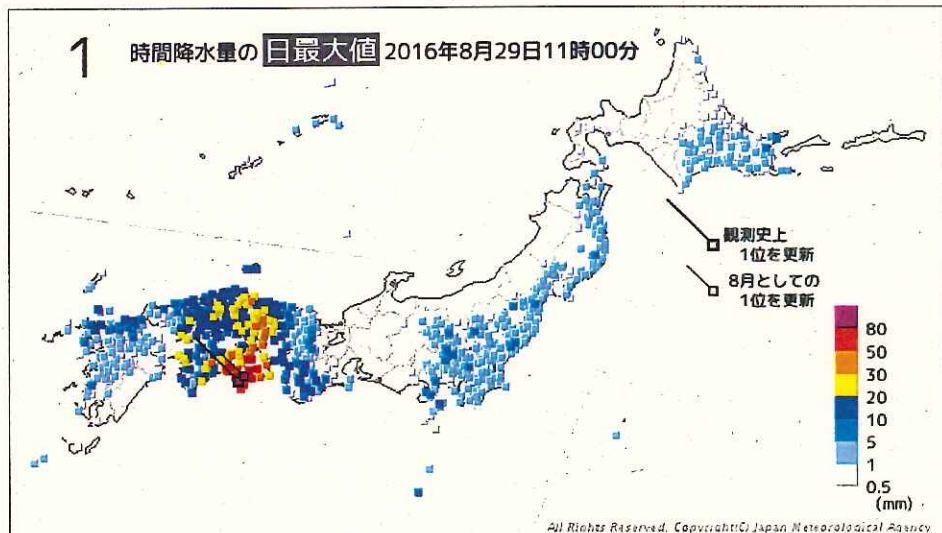


雨雲の状況 8月29日11時00分

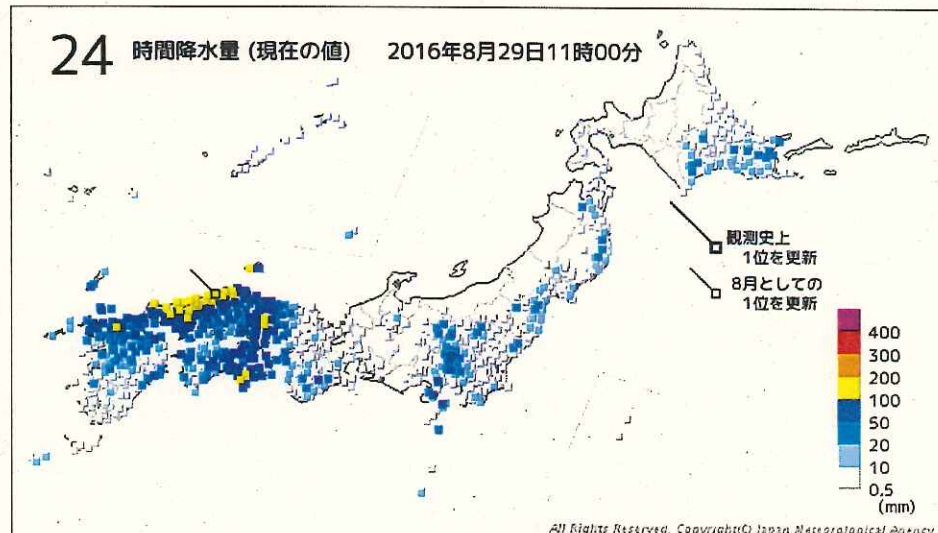


予想天気図 8月30日21時

1時間降水量の日最大値(29日0時から11時まで)



24時間降水量(29日11時まで)



1時間降水量の日最大値(5mm以上のみ) 11時00分現在

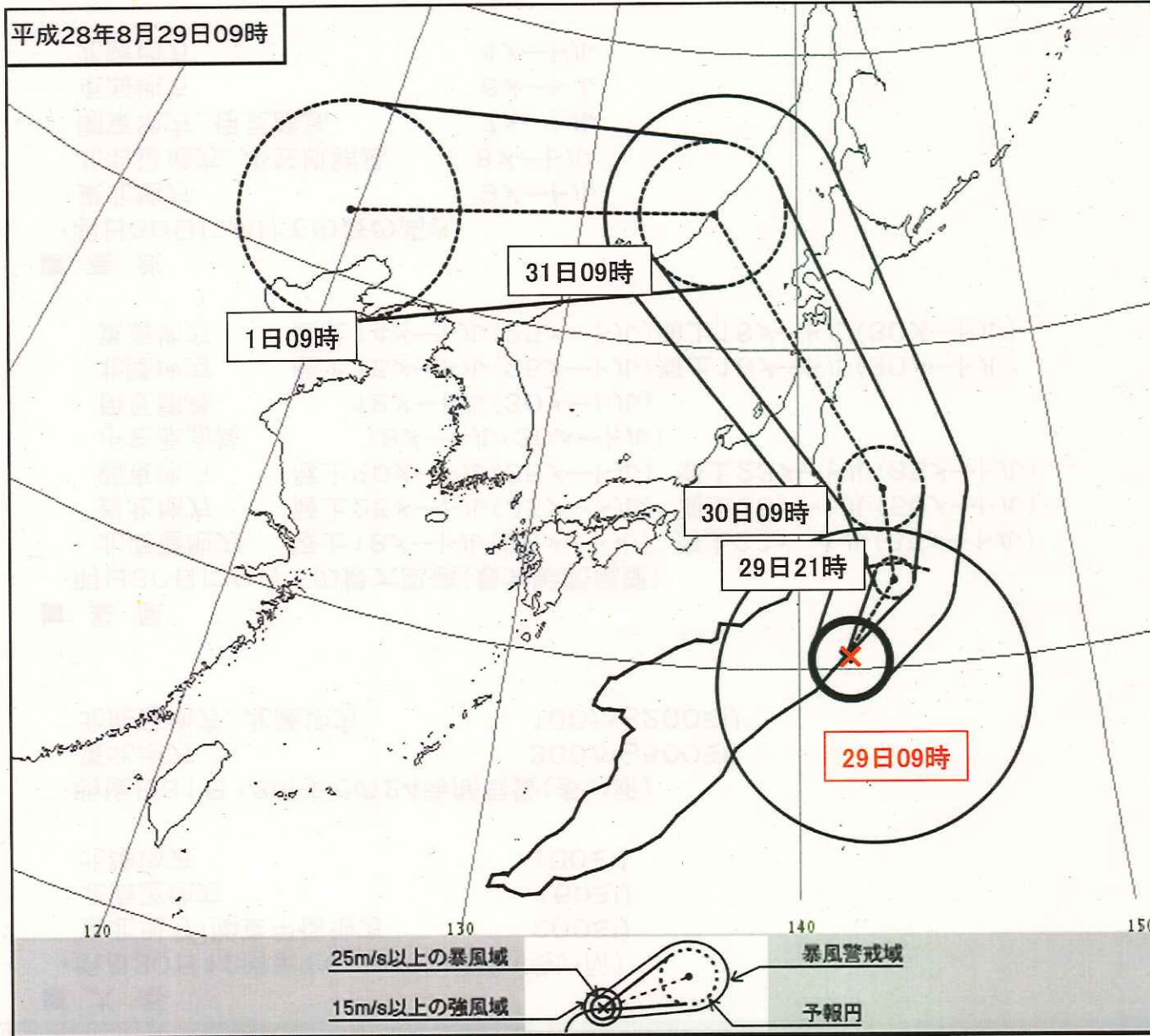
順位	都道府県	地点	観測値		昨日までの観測史上1位の値		昨日までの8月の1位の値		統計開始年	備考
			mm	時分(まで)	mm	年月日	mm	年月日		
1	高知県	魚梁瀬	85.5	04:15]	114	1995/07/21	80.5	2014/08/10	1978年	(8月の1位の値を更新)
2	高知県	田野	82.5	03:58]	80.5	2012/07/12	72.0	2014/08/23	1976年	(観測史上1位の値を更新)
3	高知県	安芸	62.0	03:59]	83.0	2008/06/29	71	1989/08/14	1976年	
4	高知県	繁藤	60.5	02:41]	110	2004/08/01	110	2004/08/01	1976年	
5	徳島県	福原旭	58.5	05:52]	97	1979/09/30	96	1988/08/13	1976年	
6	高知県	室戸岬*	56.5	04:40]	149.0	2006/11/26	84.0	2016/08/16	1925年	
7	徳島県	半田	56.0	03:57]	63.5	2010/07/19	58.0	2012/08/12	1978年	
8	高知県	佐喜浜	55.5	04:39]	133	2005/10/07	79	1999/08/10	1976年	
9	徳島県	木頭	54.5	04:58]	100.5	2009/08/10	100.5	2009/08/10	1979年	
10	高知県	後免	52.5	02:44]	119	1998/09/24	69	2004/08/01	1978年	

24時間降水量 現在の値(5mm以上のみ) 11時00分現在

順位	都道府県	地点	観測値		昨日までの観測史上1位の値		昨日までの8月の1位の値		統計開始年	備考
			mm	mm	mm	mm	年月日	年月日		
1	高知県	魚梁瀬	174.5	867.0	2011/07/19	862.0	2014/08/10	1978年		
2	島根県	大田	146.5	192	2006/07/18	144	2004/08/02	1976年	(8月の1位の値を更新)	
3	山口県	須佐	139.0	351.0	2013/07/29	249.0	2013/08/25	1976年		
4	島根県	三隅	136.0	344	1988/07/21	237	1995/08/31	1976年		
5	島根県	高津	129.0	239.0	2013/08/25	239.0	2013/08/25	2003年		
6	島根県	福光	128.0	225.0	2013/08/24	225.0	2013/08/24	1978年		
7	山口県	羅漢山	126.0	490	2005/09/07	207	1992/08/09	1976年		
"	島根県	海士	126.0	244.5	2010/07/12	141	2007/08/31	1978年		
9	島根県	浜田*	125.0	396	1988/07/15	328.0	2013/08/24	1976年		
10	山口県	篠生	123.5	298	1995/07/03	199	1984/08/22	1980年		
"	島根県	桜江	123.5	413.5	2013/08/24	413.5	2013/08/24	1976年		

台風第10号の進路予想

台風第10号 (ライオンロック) 平成28年08月29日09時50分 発表



<29日09時の実況>	
大きさ	大型
強さ	非常に強い
存在地域	八丈島の南南東約350km
中心位置	北緯 30度25分(30.4度) 東経 141度35分(141.6度)
進行方向、速さ	北東 25km/h
中心気圧	945hPa
中心付近の最大風速	45m/s
最大瞬間風速	60m/s
25m/s以上の暴風域	南東側 150km 北西側 110km
15m/s以上の強風域	南東側 650km 北西側 390km
<29日21時の予報>	
強さ	強い
存在地域	八丈島の東約340km
予報円の中心	北緯 32度40分(32.7度) 東経 143度25分(143.4度)
進行方向、速さ	北北東 25km/h
中心気圧	950hPa
中心付近の最大風速	40m/s
最大瞬間風速	60m/s
予報円の半径	70km
暴風警戒域	南東側 220km 北西側 190km
<30日09時の予報>	
強さ	強い
存在地域	銚子市の東約220km
予報円の中心	北緯 35度30分(35.5度) 東経 143度10分(143.2度)
進行方向、速さ	北 25km/h
中心気圧	960hPa
中心付近の最大風速	35m/s
最大瞬間風速	50m/s
予報円の半径	150km
暴風警戒域	東側 300km 西側 250km
<31日09時の予報>	
強さ	-
存在地域	沿海州
予報円の中心	北緯 44度30分(44.5度) 東経 136度00分(136.0度)
進行方向、速さ	北北西 50km/h
中心気圧	975hPa
最大風速	30m/s
最大瞬間風速	40m/s
予報円の半径	280km
暴風警戒域	東側 500km 西側 410km
<01日09時の予報>	
強さ	-
存在地域	中国東北区
予報円の中心	北緯 42度10分(42.2度) 東経 119度35分(119.6度)
進行方向、速さ	西 55km/h
中心気圧	990hPa
最大風速	18m/s
最大瞬間風速	25m/s
予報円の半径	410km

■ 大雨

- ・明日30日12時までの24時間雨量(多い所)

東北地方・関東甲信地方	200ミリ
北海道地方	150ミリ
北陸地方	100ミリ
- ・明後日31日12時までの24時間雨量(多い所)

東北地方	300から500ミリ
北海道地方、北陸地方	100から200ミリ

■ 暴風

- ・明日30日にかけての最大風速(最大瞬間風速)

北海道地方	陸上18メートル(30メートル)	海上23メートル(35メートル)
東北地方	陸上25メートル(35メートル)	海上35メートル(50メートル)
関東地方	陸上20メートル(35メートル)	海上23メートル(35メートル)
小笠原諸島	18メートル(30メートル)	
伊豆諸島	18メートル(30メートル)	
北陸地方	陸上15メートル(25メートル)	海上18メートル(30メートル)
東海地方	陸上14メートル(25メートル)	海上18メートル(30メートル)













■ 高波

- ・明日30日にかけての波の高さ





東北地方	9メートル
北海道地方、小笠原諸島	8メートル
関東地方、伊豆諸島	7メートル
東海地方	6メートル
北陸地方	4メートル

■ 高潮

- ・北日本では、明日30日は高潮に警戒。

	29日	30日		31日			
	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
北海道				  			
東北		 		 			
北陸							
関東		 					
伊豆諸島・小笠原諸島							

警戒期間は、台風
の速度や進路に
よって大きく変わります。
各地の気象台が
発表する最新の気
象情報を利用して
ください。

- ◎大雨・洪水: 
- ◎暴風: 
- ◎高波: 
- ◎高潮: 

8月29日9:00時点

8月20日から続く大雨に対する国土交通省の対応状況①

1 気象状況（気象庁情報）

- 台風第11号、台風第9号や前線の影響で、東日本と北日本では大雨となり、とりわけ北海道では、平年の8月の降水量の2倍近い大雨となった。
- 大型で非常に強い台風第10号は、29日6時現在、八丈島の南南東約370kmにあって、毎時30kmで北東へ進んでいる。30日夕方から夜には、強い勢力で暴風域を伴ったまま北日本から関東地方に上陸するおそれ。31日には日本海に進む見込み。
- 台風の接近、通過に伴い、北日本や東日本では非常に激しい雨が降り、局地的には猛烈な雨が降り、大雨となる見込み。台風から離れた西日本でも、30日未明にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる見込み。

2 体制等

(1) 体制

非常体制：本省（21日0:50発令、1:00大臣指示、22日17:30国交省本部会議）
北海道開発局、国土技術政策総合研究所、国土地理院

警戒体制：関東運輸局、気象庁

注意体制：関東・中国・九州地方整備局、北海道・中部・近畿・中国・四国・九州運輸局、神戸運輸監理部

警戒配備：第三管区海上保安本部

(2) 大臣による被災地視察

- ・西武多摩湖線（東村山市）、柳瀬川（所沢市）の被災現場を視察（8/25）
- ・常呂川（北見市）の被災地視察（8/27）

(3) 台風第10号に向けた警戒

- ・各部局から地方局等へ指示済み（8/26）
- ・災害対策連絡調整会議（8/26、8/29）

3 二次災害防止（台風第10号など次の豪雨に備えた対応）

(1) 河川

- ・北海道を中心に8水系12河川で、堤防裏法崩れや低水護岸崩壊、河岸侵食等が27箇所発生。被災箇所の応急復旧を実施するとともに、河岸侵食箇所等の重点監視を実施中。

常呂川水系、釧路川水系、石狩川水系、十勝川水系、湧別川水系、渚滑川水系、鶴川水系、最上川水系

- ・都道府県管理の13水系28河川で、河岸崩壊や河岸洗掘等が51箇所発生。被災箇所の応急復旧を実施するとともに、監視体制を強化。

北海道、青森県、山形県、埼玉県、新潟県

- ・今後の出水に向け、溢水箇所等において監視体制を強化する。

(参考)

- ・常呂川水系常呂川(国管理)で、越水等により約170haが浸水したが、排水ポンプ車等による排水活動により解消済み(8/26)。被災した箇所の緊急復旧は完了済み(8/26)。
- ・石狩川水系石狩川(国管理)で、無堤部からの溢水により約120ha、6戸が浸水したが解消済み。
- ・都道府県管理(北海道、青森県、山形県、茨城県、埼玉県)の20水系56河川の沿川で、溢水や内水等により家屋や田畑等の浸水被害が発生したが、TEC-FORCE活動(排水ポンプ車など)により解消済み。

(2) 土砂災害

- ・53件の被害が発生したが、現在、応急対策を実施中。
- ・土石流等が11件発生(北海道5件、東京都1件、山梨県1件、新潟県3件、岐阜県1件)。
- ・地すべりが2件発生(北海道1件、新潟県1件)。
- ・がけ崩れが40件発生(北海道6件、青森県2件、山形県3件、茨城県3件、埼玉県1件、千葉県5件、東京都6件、神奈川県12件、新潟県1件、静岡県1件)。

4 交通関係

(1) 道路

- ・北海道羅臼町の(主)知床公園羅臼線の土砂崩落により負傷者1名。通行止めに伴い266世帯、760名が孤立(電気、電話は復旧済み)。羅臼町の中心部と孤立地域を結ぶ海路を確保。27日より24時間体制による道路啓開作業に着手。
- ・高速道路、補助国道の通行止めは全て解消。
- ・直轄国道は、橋梁沈下等により1路線1区間(国道273号)で通行止め
- ・都道府県道(北海道、岩手県、山形県)は、法面崩壊等により36区間で通行止め。
- ・この他、市町村道(北海道)の10箇所では橋梁の落橋や洗掘による通行止めを確認。

(2) 鉄道

- ・土砂流入等により在来線は、2事業者3路線の一部区間で運転休止。
JR北海道(石北線、釧網線)、西武鉄道(多摩湖線)
- ・JR北海道(一部区間)、西武鉄道(東村山～武蔵大和)で、バスによる代行輸送を実施。
- ・西武多摩湖線において、被災現場より車両を搬出済み。

(3) フェリー等

- ・13事業者17航路が運休又は一部運休

(4) その他

- ・航空、高速バスは、欠航・運休なし
- ・港湾は軽微な被害のみ。

8月29日9:00時点

5 自治体支援等

(1) リエゾン 1道1県34市町に、のべ203人・日派遣(8/20~)

- ・北海道開発局、北海道運輸局から1道25市町に、のべ189名を派遣(8/20~)。本日(8/29)は、羅臼町で2名が活動。

北海道庁、上川総合振興局、オホーツク総合振興局、釧路総合振興局、空知総合振興局、日高振興局、士別市、幌加内町、名寄市、下川町、旭川市、深川市、北見市、湧別町、置戸町、美幌町、美幌町、赤平市、砂川市、足寄町、紋別市、陸別町、標茶町、羅臼町、むかわ町、日高町、中富良野町、新ひだか町、網走市、美瑛町、東川町

- ・東北地整から1市(福島市)に2名派遣(8/22)。
- ・関東地整から3市(横浜市、日光市、入間市)に4名派遣(8/22)。
- ・中部地整から1県5市町(静岡県、沼津市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、函南町)に8名派遣(8/22)。

(2) TEC-FORCE等 23市町に、のべ344人・日派遣(8/20~)

○排水ポンプ車による内水排除等

- ・北海道開発局から25市町村に排水ポンプ車25台、照明車13台、衛星通信車3台等(8/20~)。

幌加内町、美幌市、砂川市、下川町、士別市、名寄市、鷹栖町、旭川市、美幌町、湧別町、遠軽町、剣淵町、豊頃町、北見市、大空町、標茶町、網走市、足寄町、訓子府町、音威子府村、日高町、むかわ町、美瑛町、中富良野町、深川市

- ・東北地整から6市町に排水ポンプ車6台、照明車3台(8/22~8/27)。
須賀川市、郡山市、三川町、八戸市、七戸町、鶴岡市
- ・関東地整から3市に排水ポンプ車1台、照明車4台(8/22~8/23)。
入間市、東松山市、上尾市
- ・中部地整から2市町に排水ポンプ車2台(8/22)。三島市、函南町

○被災状況調査

- ・北海道開発局(8/21~8/27)、関東地整(8/23)、北陸地整(8/23)は、ヘリコプターにより、浸水状況を把握するとともに、河川や土砂災害箇所等の被災状況調査を実施。

- ・北海道開発局は、11市町村で早期復旧に向け、自治体所管施設も含め、河川、砂防、道路等の被災状況調査を実施(8/25~)。調査結果を8市町村の首長等に報告。

名寄市、愛別町、美瑛町、占冠村、陸別町、剣淵町、新冠町、平取町、白糖町、足寄町、北見市
※下線の市町は、調査結果を首長等に報告済み。

- ・東北地整は、大蔵村(山形県)で砂防施設の点検、被災状況調査を実施(8/23~8/24)し、村に調査結果を報告予定。
- ・国土地理院は、砂川市(北海道)で、UAVによる土砂災害箇所を調査(8/22)。常呂川流域で航空機(くにかぜⅢ)による空中写真を撮影(8/23~8/25)。
- ・国総研は、4市町で橋梁、下水道等の被災調査を実施(8/24~8/26)。
さいたま市、北見市、網走市、上川町
- ・土木研究所は、4市町で河川堤防、砂防等の被災調査を実施(8/21~8/26)。
北見市、網走市、陸別町、上川町

8月29日9:00時点

○主要地方道・知床公園羅臼線の土砂崩落への支援

- ・北海道開発局は、照明車、衛星通信車等により崩落箇所を監視。映像を羅臼町に配信（8/24～）。土砂災害専門家等により復旧方針等の技術的な支援（8/26）。
- ・北海道開発局は無人施工機械を派遣し、道庁が24時間体制で土砂撤去を実施中（8/27～）。

○散水車による給水支援等

- ・北海道開発局は、3市町で散水車4台により給水支援等を実施（8/23～8/27）。北見市、美瑛町、深川市

(3) 海上保安庁

- ・巡視艇により、北海道羅臼町における土砂災害により孤立した地区から羅臼港へ、急患1名、救急隊員3名及び観光客12名の搬送を実施。
- ・巡視艇により、羅臼港から孤立した地区へ、羅臼町職員2名、警察官2名、NTT・北海道電力作業員等7名の搬送を実施。
- ・引き続き、連絡体制を確保しつつ、情報収集を継続中（8/25）。

【参考】人的・物的被害（消防庁8/25 17:00）

○人的被害

- ・死者2名（北見市、相模原市）
- ・負傷者70名（重傷9名、軽傷61名）

※北海道9名、茨城県17名、群馬県1名、埼玉県9名、千葉県27名、東京都2名、神奈川県4名、静岡県1名

○物的被害

- ・全壊、半壊、一部破損164棟

北海道12棟、岩手県1棟、宮城県10棟、福島県1棟、茨城県24棟、栃木県4棟、千葉県98棟、東京都8棟、神奈川県5棟、静岡県1棟

- ・床上浸水209棟

北海道80棟、青森県4棟、山形県1棟、埼玉県66棟、千葉県1棟、東京都50棟、神奈川県2棟、新潟県5棟

- ・床下浸水838棟

北海道275棟、青森県27棟、秋田県3棟、山形県34棟、福島県1棟、茨城県3棟、栃木県26棟、埼玉県362棟、千葉県3棟、東京都78棟、神奈川県7棟、新潟県19棟

台風11号による 北海道 常呂川被災状況(8月20~22日)

越水4箇所発生(うち堤防法崩れ1箇所、堤防天端砂利一部流出1箇所、いずれも応急復旧済。排水作業完了)。
 支川2箇所で堤防の決壊を確認(復旧工事完了)。
 計画高水位を延べ15時間超過(上川沿観測所)。
 (平成28年8月29日 9:00時点)

左岸24.0k 堤防天端の一部流出

21日 0:10 堤防越水を確認
 21日 5:20 堤防天端の一部流出を確認
 21日15:40 応急復旧完了(土のうによる埋め戻し)



左岸22.6k 堤防裏法崩れ

21日 0:40 堤防越水を確認(越流幅70m)
 21日 0:50 堤防裏法の崩れを確認(幅16m)
 21日 5:20 越水終了を確認
 21日13:50 応急復旧完了(大型土のうによる堤防応急復旧)



支川柴山沢川堤防の決壊

21日 5:20 堤防の一部流出を確認(延長約100m)
 22日 9:30 緊急復旧工事に着手
 26日12:00 緊急復旧工事完了(大型土のうによる堤防緊急復旧)



支川東亜川(道管理区間)堤防の決壊

22日 10:00頃 堤防の決壊を確認
 22日 13:00 堤防復旧に着手
 27日 応急復旧工事完了
 (大型土のうによる締切工)



<避難状況> ※日吉・福山地区含む
 避難勧告 20日19:45 常呂自治区※:1,302世帯、2,893人
 避難指示 20日22:20 福山地区:17世帯56人
 21日00:40 常呂自治区※:1,302世帯、2,893人
 ※日吉地区において避難途中の54名が一時孤立。

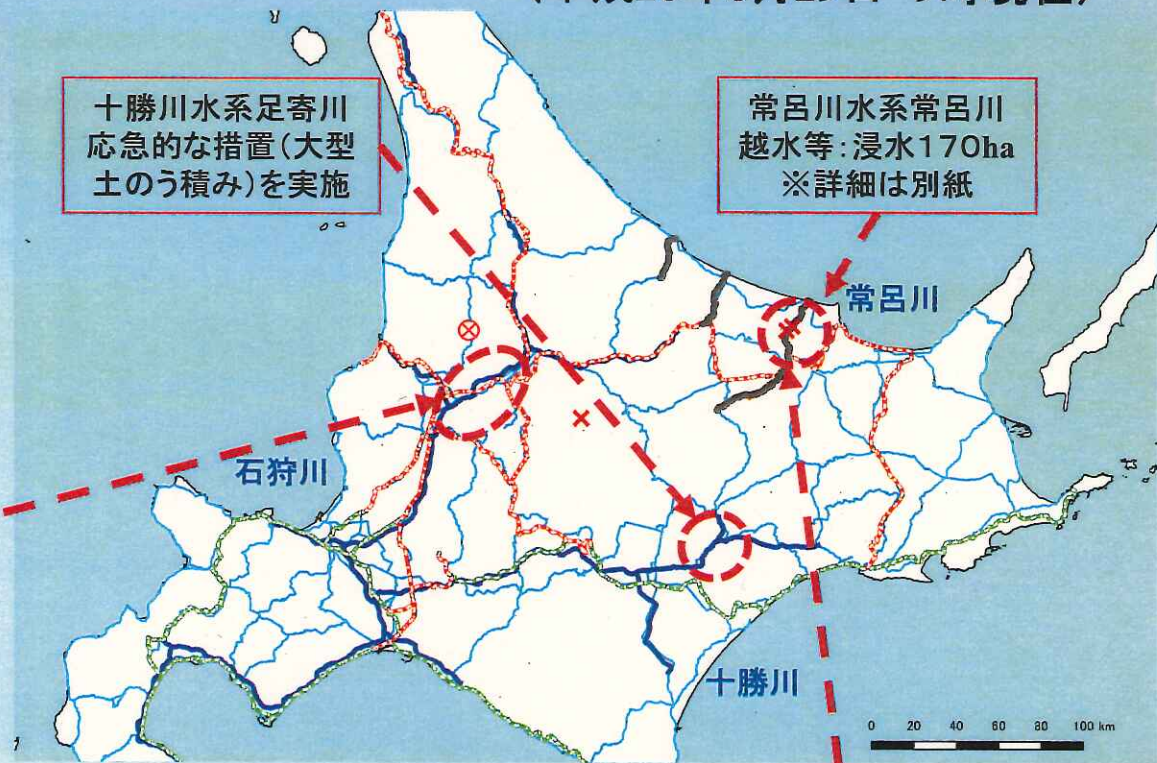
凡例
 浸水範囲
 越水(堤防欠損あり)
 越水のみ
 堤防決壊

※ これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。

8月20日から続く大雨における北海道の出水概要

(平成28年8月29日 9時現在)

- 氾濫危険水位を超過した河川数
 - 国管理河川：9河川
 - 都県管理河川：26河川
- 確認された家屋浸水被害
 - 床上2棟、床下33棟(調査中)



十勝川水系足寄川
応急的な措置(大型土のう積み)を実施

常呂川水系常呂川
越水等:浸水170ha
※詳細は別紙



無堤部より溢水:約120ha、6戸の浸水



排水作業 状況



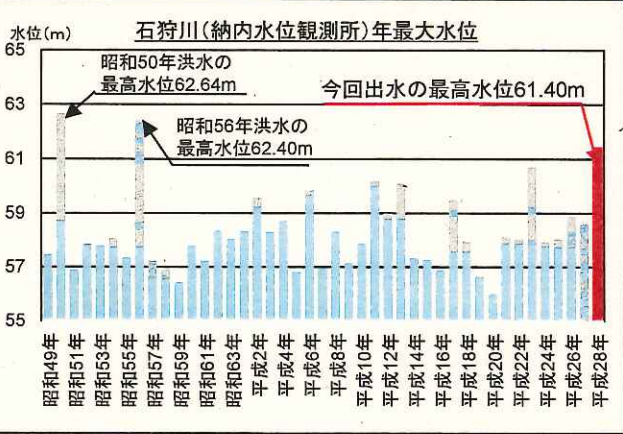
排水作業 完了



常呂川水系常呂川(北見市)排水支援完了

台風9号による 北海道 石狩川被災状況(8月23日～24日)

国管理の石狩川水系石狩川下流で溢水による浸水8箇所発生。浸水面積約120ha、浸水家屋6戸。
戦後最大規模の昭和56年洪水に次ぐ高い水位を記録。氾濫危険水位を2時間超過(納内観測所)。(29日9:00時点)



23日 14:30氾濫危険水位を超過
23日 15:00溢水による浸水を確認
24日 0:30排水ポンプ車による排水作業開始
排水作業完了



<避難状況>
避難準備情報 23日13:49

※ これは速報であり、数値等は
今後変わることがあります。



主要地方道 知床公園羅臼線 土砂崩落について

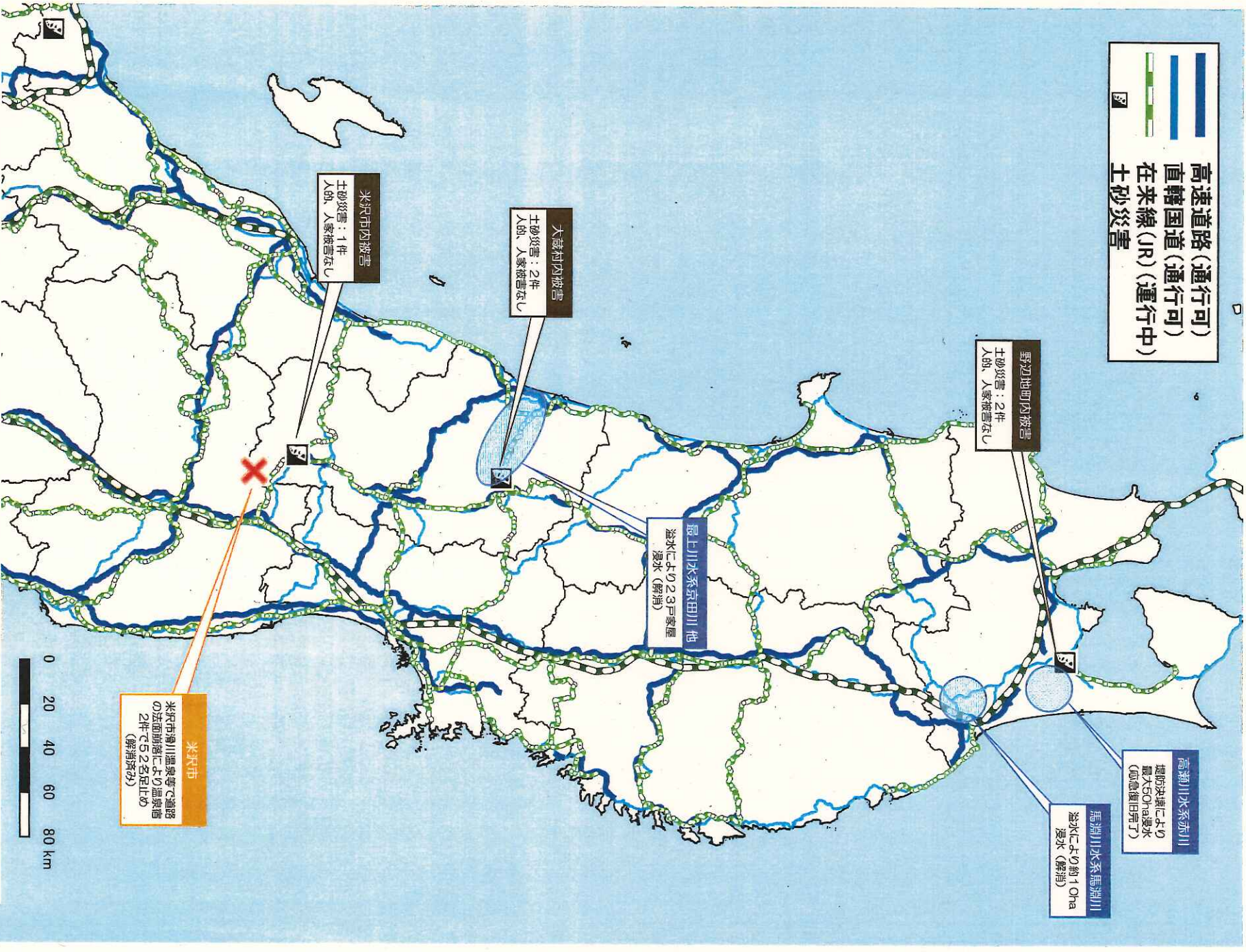
1. 被災日時 : 8月24日(水) 16時45分
2. 場所 : 北海道羅臼町海岸町
3. 被災状況 : 豪雨後に山腹斜面が崩落し道路を閉塞。崩落土砂は海まで達する(被災延長 約100m)
法面から大量の湧水が出水
4. 孤立状況 : 266世帯。760人 観光客(14名)は羅臼町手配の漁船で退出済
海上保安庁により25日までに27名を緊急搬送
25日から羅臼町が観光船を手配し、羅臼町の中心地と孤立地域を結ぶ海路を確保
5. ライフライン : 電気、電話は復旧。避難所と現地本部へ衛星携帯設置
水道、ガスは利用可。必要物資の搬送可能
6. 道路復旧見込 : 27日より道路啓開作業に着手(24時間体制)
※コンクリートブロック、大型土のう設置、重機による掘削中
7. 支援状況 : ①北海道庁、羅臼町にリエゾンを派遣し情報収集を実施(8/24~)
②照明車、衛星通信車等を派遣し斜面崩落箇所を監視。崩落箇所の映像を羅臼町に配信(8/24~)
③土砂災害専門家(寒地土研)及びTEC-FORCEにより崩落箇所の復旧方針等の技術的支援(8/26)
④北海道開発局から無人施工機械を派遣。道庁が24時間体制で土砂撤去中。



8月20日から続く大雨に対する国土交通省の対応状況②

国土交通省関連

※8/29 9:00現在



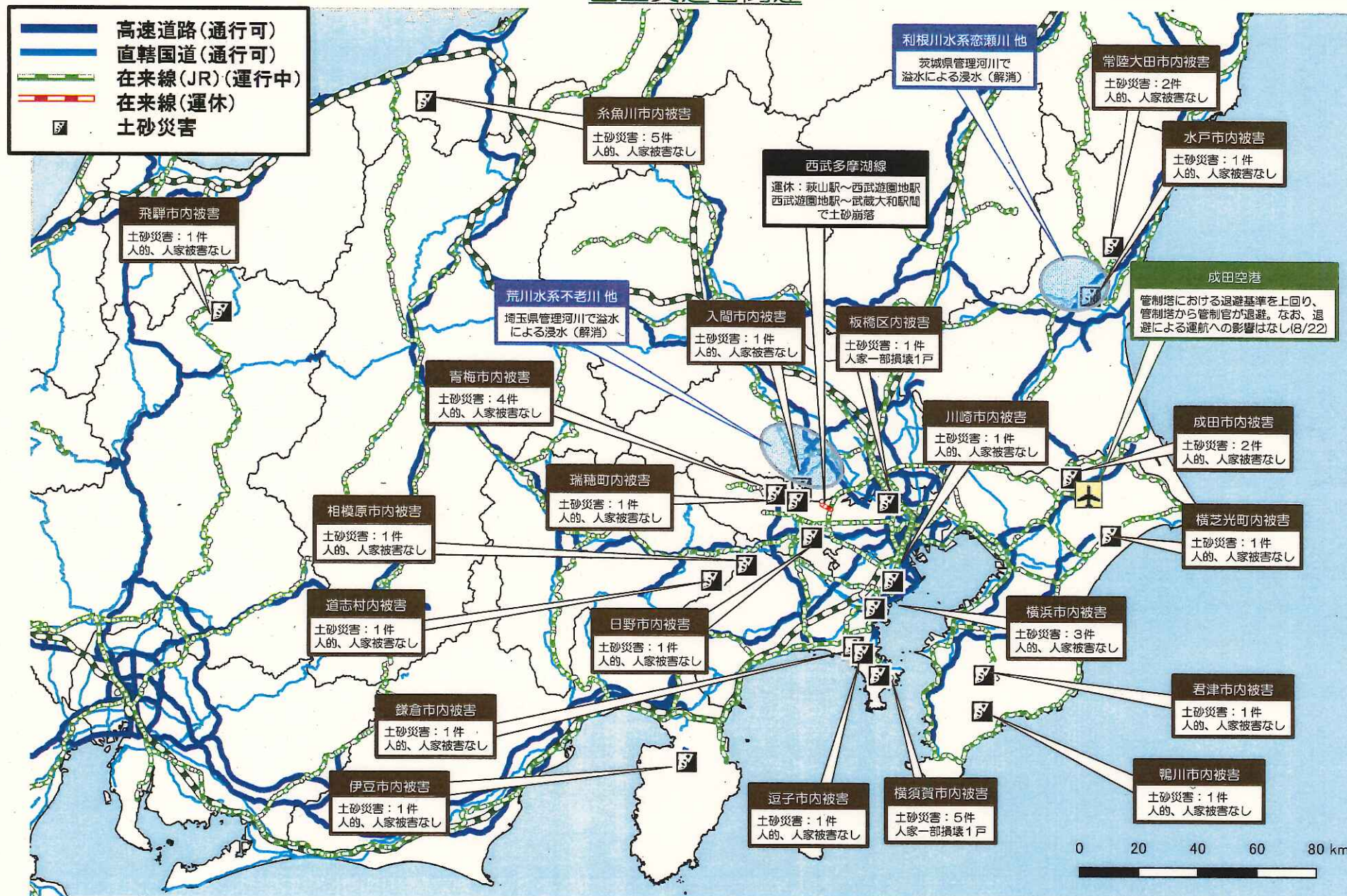
※東北地方整備局管内で県道3区間で通行止め (いずれも孤立なし)

※上記を含め、県管理河川は、4河川で浸水あり、(一部家屋浸水あり、いずれも人的被害なし)

8月20日から続く大雨に対する国土交通省の対応状況②

国土交通省関連

※8/29 9:00現在

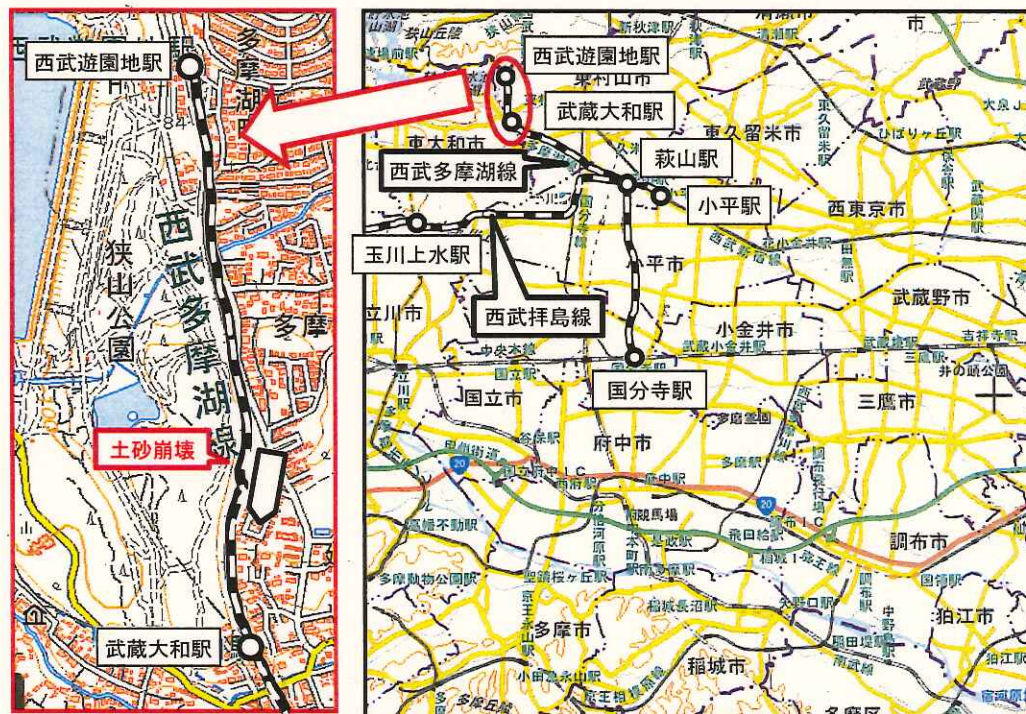


※上記を含め、県管理河川は、14河川で浸水あり(一部家屋浸水あり、いずれも人的被害なし)

西武鉄道多摩湖線 土砂崩落について

1. 発生日時及び天候 平成28年8月22日(月)11時29分頃 天候 雨
2. 場所 多摩湖線 武蔵大和駅～西武遊園地駅間 (東京都東村山市)(小平起点4k900m付近)
3. 列車 西武遊園地駅発 国分寺駅行き 第6560列車 4両編成(ワンマン)
4. 運転再開見込 概ね1ヶ月程度
5. 概況
 - ・ 当該列車運転士が運転中、武蔵大和駅手前の進行方向左側の架線を支える支柱が傾いている状況に気がつき、列車を停止させた。
 - ・ 運転士が状況を確認したところ、停車中の車両と線路の間に線路脇の法面の土砂が流入し、車両(進行方向左側・4両編成最後尾)を押し上げた状況になっているのを確認した。
 - ・ 乗客(6名)は武蔵大和駅へ約100mほど徒歩にて避難させ、けがはなかった。
6. 復旧状況
 - ・ 28日、現場より車両を搬出。今後、土砂撤去、土留め工設置、レール・電力柱設置等を実施予定

現場写真



平成28年8月20日からの大雨によるTEC-FORCEの活動 (8/29 8時現在) 国土交通省

※この情報は速報であり、今後変更があり得るものである。

防災ヘリによる被災概況調査



被災状況調査(北見市)



技術支援班(羅臼町)



被災状況調査(剣淵町)



被災状況調査(美瑛町)



副町長へ調査結果報告

【TEC-FORCE派遣】

被災状況調査班等「●」で表示

現在派遣中は「●」で表示

- 羅臼町 (活動終了)
- 名寄市 (活動終了)
- 剣淵町 (被災状況調査班 3 班)
- 愛別町 (活動終了)
- 美瑛町 (被災状況調査班 1 班)
- 占冠村 (活動終了)
- 陸別町 (活動終了)
- 白糠町 (活動終了)
- 新冠町 (活動終了)
- 平取町 (活動終了)
- 足寄町 (活動終了)
- 北見市 (被災状況調査班 4 班)

合計 現在 8 班 38 人
(最大 18 班 71 人 のべ 234 人・日)

【リエゾン派遣】

8月20日～ 31市町等へ 186人・日

【TEC-FORCE派遣】

応急対策班等「●」で表示 活動終了

- 下川町 (排水ポンプ車 1 台)
- 幌加内町 (排水ポンプ車 1 台)
- 名寄市 (排水ポンプ車 2 台、照明車 1 台、衛星通信車 1 台)
- 石狩川流域・羅臼町など (防災ヘリコプター 1 基)
- 深川市 (排水ポンプパッケージ 2 台、照明車 1 台、衛星通信車 1 台)
- 北見市 (排水ポンプ車 8 台、照明車 2 台、衛星通信車 1 台)

合計 (のべ)
排水ポンプ車 12 台、排水ポンプパッケージ 2 台、照明車 4 台、
衛星通信車 3 台、防災ヘリコプター 1 基

新冠町



被災状況調査(新冠町)

【ヘリによる被災状況調査】



災害対策用ヘリコプター「ほっかい」

【ポンプ車による排水活動】



常呂川水系常呂川(北見市)

【被害状況調査】



占冠村現地調査(村道流出)



占冠村長へ報告



石狩川水系石狩川浸水状況
(深川市)



石狩川水系ビバイイクシュンベツ川
(美唄市)



白糠町現地調査(法面崩落)



白糠町副町長へ報告

【土砂災害箇所の監視及び技術的助言】



天人峡道路流出(東川町)



天塩川水系タヨロマ川(名寄市)



羅臼町土砂崩れ現場



羅臼町へ技術的助言